


 緑の屋根 特別号

## 令和7年度 第2回学校評価の結果について

厳寒の候、保護者の皆様にはおかれましては、ご清祥のこととぞんじます。また、日頃より本校の教育活動に際しまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

第2回学校評価アンケートの結果を下記にお知らせ致します。

評価対象	番号	評価項目	AB 評価合計割合		昨年2回目	
			児童	保護者	児童	保護者
1 教育課程 ・ 学習指導	1	考えをまとめ、伝える力	87	<b>82</b>	88	79
	2	学習内容の理解	93	—	95	—
	3	コンピュータ等を使った学習	94	—	95	—
	4	家庭学習や読書の取組	82	66	82	67
	5	楽しんで英語の授業	88	83	91	88
2 生徒指導	1	あいさつや言葉遣い	92	<b>85</b>	96	79
	2	いじめの未然防止	—	<b>92</b>	—	89
	3	学校への連絡・相談	<b>95</b>	<b>92</b>	94	91
	4	楽しい学校生活	96	<b>95</b>	98	94
3 キャリア 教育	1	将来の夢や希望	<b>85</b>	—	84	—
	2	将来について家族で話題	65	<b>85</b>	70	83
4 健やかな 体・安全	1	休み時間などの運動遊び	<b>80</b>	—	77	—
	2	タブレットやスマホの使用時間が1時間以内	45	—	50	—
	3	健康的な食生活	94	—	94	—
	4	学校の感染予防対策	—	<b>99</b>	—	98
	5	過程や地域と連携して安全対策	97	<b>98</b>	97	97
5 家庭や地 域との連 携	1	学校の活動や様子の伝達	92	<b>96</b>	93	94
	2	学校行事などへの参加	—	99	—	99
	3	保護者や地域住民との連携	—	96	—	97
平均			85	90	85	91

※太字の数字は、1回目の調査結果を上回ったものです

## 1 教育課程・学習指導について

1回目の調査よりもポイントは若干下がったものの、全体的に高い水準をキープしている。学習内容を理解し、話し合い活動を通して自分の考えを伝えることができている。言葉で考えを伝えることが難しい児童は、タブレット等を活用して意見を表明している。自分の考えを深めたり、意見を伝えたりするために、授業の中でタブレットを積極的に活用することが定着してきている。

## 2 生徒指導 あいさつや言葉遣いについて

1回目の調査よりも、「あいさつや言葉遣い」について「できている」と回答している保護者が増加した。対照的に児童は、「できている」と回答している児童が減少している。今後も、あいさつや言葉遣いの指導を行っていくと共に、あいさつ運動を盛り上げ、あいさつの大切さを伝えていく。

## 2 生徒指導 楽しい学校生活について

1回目の調査同様に「楽しい学校生活」については高い水準をキープしている。「宮二小よい子のクローバー（学校のきまり）」にある目指す姿を全職員で共有し、チームで生徒指導に取り組んでいる。また、2ヶ月ごとに人間関係を深めるためのめあて（なかよしめあて）を決めて、全校が同じ目標に向かって取り組めるようにしている。今後も、楽しく学校生活をおくれるように努めていく。

## 4 健やかな体・安全 休み時間の運動遊びについて

1回目の調査よりもポイントが増加した。体育委員の児童が定期的に外遊びを企画し、休み時間に外で体を動かすことを呼びかけている。休み時間の過ごし方は人それぞれであるが、外遊びのきっかけはつくっていききたい。また、高学年児童は委員会活動等があるが、できるだけ休み時間を確保できるようにしていく。

## 4 健やかな体・安全 タブレット・スマホの使用時間について

「勉強以外の目的でタブレットやスマホを使っているか」という質問に対して、「1時間以内」と回答した児童は、1回目の調査よりも減少している結果であった。児童に貸与しているタブレットについては、学習を補助する道具であることを継続して指導していく。ICT機器を禁止するのではなく、上手に付き合っていけるようにしたい。スマホやタブレットの使い方について家庭での話し合いを設けていただき、約束事を決めて使用できるようにしたい。